

ペ
ト
ラ
ル
カ
へ
の
オ
マ
ー
ジ
ユ

NAMI KOBAYASHI

NAMI KOBAYASHI SOPRANO RECITAL -TRIBUTE TO PETRARCA-

小林菜美ソプラノリサイタル

ピアノ／寺嶋陸也

2023 4.16(日) 14:00開演 | 王子ホール (銀座4丁目) | 全指定席:5,000円
(13:30開場)

チケット取扱い: 王子ホールチケットセンター (10:00-18:00 平日のみ) 03-3567-9990 www.ojihall.jp

カンフェティチケットセンター (10:00-18:00 平日のみ) 0120-240-540

オンラインチケットサービス

<http://confetti-web.com/TOKYO-CONCERTS>

主催:小林菜美 後援:公益財団法人 東京二期会、イタリア文化会館

マネジメント・お問い合わせ:東京コンサーツ 03-3200-9755 (平日11:00-16:00) <https://www.tokyo-concerts.co.jp>

※就学前のお子様のご入場、ご同伴はご遠慮願います。



【第I部】
ペトラルカの世界

F.J.Haydn (1732-1809): Solo e pensoso
ハイドン: 独り思い出に沈んで

J.F.Reichardt (1752-1814): Sonetti e canzoni di Petrarca
ライヒャルト: ペトラルカのソネットとカンツォーネより

I Canzon, s'al dolce loco

カンツォーネよ、甘美な場所で

IV Erano i capei d'oro all'aura sparsi

その昔 黄金の神 そよ風にかき乱れ

V O poggi, o valli, o fiume, o selve, o campi

ああ、丘よ、谷よ、川よ、森よ、野よ

VIII Di tempo in tempo mi si fa men dura

時は過ぎ また時を重ねれば

Nino Rota (1911-79): Ballata e Sonetto del Petrarca
ニーノ ロータ: バッラータとソネット

I Di tempo in tempo mi si fa men dura

時は過ぎ また時を重ねれば

II Vago augelletto, che cantando vai

さまよう小鳥よ、歌いながら飛ぶのか

M.Castelnuovo-Tedesco (1895-1968): Due sonetti del Petrarca
カステルヌオーヴォテデスコ: 二つのペトラルカのソネット

I Zefiro torna

西風が帰り

II Benedetto sia 'l giorno

祝福されるがいい

I.Pizzetti (1880-1968): Tre sonetti del Petrarca
ピッツェッティ: ペトラルカの3つのソネット

I La vita fugge e non s'arresta un'ora

世ははかなく、時は止まることなし

II Quel rosignuol, che si soave piangne

優しくさえずる夜泣きうぐいす

III Levommi il mio pensier in parte ov'erà...

わが思い高みに われを運びゆく

F.Liszt (1811-86): Tre sonetti del Petrarca
リスト: ペトラルカの3つのソネット

I Pace non torovo

私に平和はないが

II Benedetto sia 'l giorno

祝福されるがいい

III I' vidi in terra angelici costumi

地上で目に触れた天使の装い

【第II部】

G.Rossini (1792-1868): 『L'assedio di Corinto』
"L'ora fatal s'appressa~Giusto ciel!"
ロシーニ: 歌劇『コリントの包囲』より
“運命の時は迫り、正しき天よ!”

G.Donizetti (1797-1848): 『Maria di Rohan』
"Hawi un Dio che in sua clemenza"
ドニゼッティ: 歌劇『マリア・ディ・ローアン』より “憐れむ神よ”

V.Bellini (1801-35): 『Il Pirata』
"Oh! s'io potessi dissipar le nubi~Col sorriso d'innocenza"
ベッリーニ: 歌劇『海賊』より
“ああ! 頭を悩ますこの雲が~無邪気な微笑みと”

小林 菜美 (ソプラノ) NAMI KOBAYASHI (SOPRANO)



国立音楽大学卒業。同大学院オペラ科修了。二期会オペラスタジオを優秀賞受賞し修了。1995年よりイタリアへ留学。天性の才能に加え、高い技術に裏打ちされた伸びのある美声には定評があり、透明感を兼ね備えたりリコレッジェロの逸材として、高い評価を各方面から得ている。

第29回ベッリーニ国際コンクール入賞。第27回日本イタリア声楽コンクールソプラノ賞受賞。第36回日伊コンクール第3位。第1回ノーヴィ国際コンクール第1位優勝。

イタリア各地、日本、アジア、キューバ等でコンサートを行う。宗教曲の分野から「フィガロの結婚」スザンナ、伯爵夫人、「ドン・ジョバンニ」ドンナ・アンナ、「ラ・ボエーム」ムゼッタ、「ボッペアの戴冠」ボッペア、「カルメン」ミカエラ等オペラに出演。国立音楽大学大学院創立30周年記念演奏会にて、ソロリサイタルを開催。新国立劇場「サロメ」「リゴレット」二期会「カルメン」、オッフェンバック「天国と地獄」ダイアナ役等を好演。愛知芸術劇場主催「椿姫」ヴィオレッタ、新国立劇場「友人フリッツ」スーゼル、東京室内歌劇場モーツァルト「偽りの女庭師」で主役を務め、情感溢れる的確な演唱、高い音楽性が新聞各紙にて絶賛された。

国立音楽大学音楽研究所主催ニーノ・ロータのオペラ「ノイローゼ患者の夜」(2013)、「運転教習所」(2014)、「フィレンツェの妻わら帽子」(2015)と連続して出演。

平成17年度第60回文化庁芸術祭参加リサイタルとして「フランス声楽作品の系譜1〜ルイ・フィリップ時代の歌」、「フランス声楽作品の系譜2」、平成27年第70回文化庁芸術祭参加リサイタルとして「ポリヌ・ヴィアルド・ガルシアの世界を訪ねて〜II」において「ヴィアルド・ポリヌ・ガルシア12の歌曲集全曲」を取り上げ各方面において反響を呼ぶなど、過去14回のリサイタルは日本初演の作品も多数取り上げ、各紙にて高い評価を得た。またポリヌ・ヴィアルド・ガルシアのベルカントの声楽作品、ニーノ・ロータの声楽作品に関する論文も多数発表。

CD『ああ、そはかの人か』をリリース。国立音楽大学非常勤講師、二期会会員。東京室内歌劇場会員。

寺嶋 陸也 (ピアノ) RIKUYA TERASHIMA (PIANO)



1964年生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。オペラシアターこんにゃく座での活動や、97年東京都現代美術館でのポンピドー・コレクション展開催記念サテリ連続コンサート「伝統の変装」、03年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く評価され、06年にはタングルウッド音楽祭に招かれボストン交響楽団のメンバーと自作を含む室内楽を演奏した。作曲、ピアノ演奏のほか、東京室内歌劇場やびわ湖ホールでのオペラ公演の指揮など、活動は多方面にわたる。

オペラ『あん』『グスコブドリの伝記』『ヒト・マル』『ガリレイの生涯』『末摘花』、合唱オペラ『そして旅に出た』、合唱劇『星の王子さま』、『尺八・二十絃』と管弦楽のための協奏曲、合唱のための『詩篇第49番』、『沖繩のスケッチ』、オーボエ・三味線と打楽器のための『異郷の景色』、古代復元楽器のための『大陸・半島・島』など作品多数。

「大陸・半島・島/寺嶋陸也作品集」(ALCD9026)、「二月から十一月への愛のうた(栗山文昭の芸術2/寺嶋陸也作品集)」(VICS61092)「寺嶋陸也plays林光」(NARD5034)「寺嶋陸也ピアノリサイタル〜シューベルト3大ソナタを弾く〜」(NARC2129-30)など、多くのCDがある。

お茶の水女子大学文教育学部非常勤講師。